

# 教会ホームページの基本的な考え方

Ver2019022101

BREADFISH 丸山泰地

<https://breadfish.jp/>

# 教会ホームページの基本的な考え方

---

教会ホームページがどうあるべきか。

私はずっと考えてきました。そして、私の中である一定の答えができました。そのうち4つの大きなことをここに記します。もちろん、私の考えが正解というわけではありません。こうした類のことは、方程式のような正解があるわけではありません。

ただ、誰よりも多く、たくさんの教会や企業のホームページの制作に携わってきた経験を通して、こうすることがいいのではないかと、言えるようになってきました。これから教会ホームページ制作に携わる人は、ぜひこの考え方を知って頂いた上で、ご自身の考えに良いところは吸収頂ければと思います。

ホームページ制作やセミナーを通して、そのことをお伝えしていますが、まだまだ教会の情報発信は未成熟です。少しでもこの冊子がお役に立てればと願います。

BREADFISH 丸山泰地

## 目次

<b>教会ホームページの基本的な考え方</b> .....	<b>1</b>
1. ホームページで直接的伝道はしなくても良い .....	2
2. 文章が命。とにかく暖かい優しい文章を紡いでください .....	4
3. その人の人生で一回しか教会のホームページは見に来ないと考える .....	6
4. 検索エンジンで上位表示される方法 .....	7

## 1. ホームページで直接的伝道はしなくても良い

---

多くのクリスチャンはホームページを良き伝道のツールとして捉えてくださっています。

だからホームページで伝道しないといけない。と考えて、聖書の御言葉をいれたり、牧師の説教を入れてみたりと工夫します。

しかし、私は「**ホームページで伝道しようと思わないで**」とお伝えしています。

なぜでしょう？

それにはまず「ホームページの特性」を知っていただきたいのです。

---

### ホームページは用事がなければ見に来ない

---

みなさんが教会のホームページを見るときはどんなときですか？

たとえば、日曜日に旅行や出張で遠方に出かけるようなときなど、礼拝の場所を探さなければならない状況で、Yahoo や Google などの検索エンジンを使って、教会のホームページを検索しますよね。

ある日、思いついたように「今日は教会のホームページでも見てみよう」と頭に浮かんで見に行く人はほとんどいないと思います。

クリスチャンである皆さんですら、そんな状況です。クリスチャンではない、キリスト教に興味がない人が、ある日突然教会のホームページにやってくる確率は途方もなく低いのです。

では、教会ホームページは一生見られないのではないかと思うかもしれませんが、そんなことはありません。私の教会では、ほとんどの人がホームページを見て足を運んでくださいます。

はじめて教会に来ようとしている人は、**別の場所できっかけが与えられます**。小説や映画、別のホームページを通して、先生や友達を通して、なんらかのきっかけを得てはじめて「教会に行ってみようかな。そういえば、教会ってどこにあるのだろう」と考えて検索をします。

きっかけを与える媒体があって、受け皿となるホームページがあるのです。教会ホームページは受け皿です。ここでは「受け皿となる教会ホームページはどうあるべきか」という前提でお話をしています。

---

### 教会ホームページはキリスト教に興味を持った人が訪れる教会の入口です

---

すでにきっかけが与えられているので、みなさんの教会のホームページにアクセスしてきた人は、**すでにキリスト教に興味を持っている可能性が非常に高い**のです。

でも、まだ迷っています。「行ってみたいけど、私のような人が教会に行ってもいいだろうか」「まったく初めての人を受け入れてくれるだろうか」「信じることを強制されることはないだろうか」とさまざまな不安をもって、なかなか足を踏み出せません。

そこに、「さあ、あなたもイエス・キリストを信じてください。救われて永遠の命を得てください」とプッシュすることは得策でしょうか？

得策ではありませんね。みなさんがそこですべきことは、

「大丈夫ですよ。教会はあなたにとって安全な場所です。歓迎しますのでどうぞお気軽にお越し下さい」

と呼びかけることではないでしょうか。

教会ホームページは、教会の入り口です。そこで中に入ろうか、引き返そうか、迷っている人に「大丈夫ですよ」と声をかけて安心してもらうことこそ、教会ホームページの役割なのです。

だから力んで伝道しようと思う必要はまったくありません。顔も合わせたこともない人の話を信じようと思いませんか？ なかなか思いませんよね。まず来ていただいて、顔と顔を合わせて信頼を築くということが大切ではないでしょうか。

## 2. 文章が命。とにかく暖かい優しい文章を紡いでください

---

「文章は読まれないのだから、画像や動画中心にしよう」

私はその意見に大反対です。

ホームページで最も大事な要素はずばり文章です。文章こそがホームページの要です。

画像や動画も重要です。でも脇役です。**文章こそが主役**です。なぜでしょう。

---

### 文章でしか運営者の思いや人となりを感じ取れないから

---

小説のように、文章をしっかりと読まれることはありません。それでも文章をしっかりと書くのは重要なことです。なぜならば、**文章が運営者の思いや人となりを伝えている**からです。文章がほとんどなくて写真や動画ばかり貼ってある教会ホームページを想像してみてください。そんな教会に行ってみようとは普通は思わないはずです。

「ようこそお越し下さいました」「お気軽に起こしてください」「はじめての方でも安心してください」  
そうした言葉の積み重ねを、読者は・・・しっかり読んでいなくても・・・感じているのです。

---

### 信頼を築くため

---

アーティストなどの有名人、誰もが知っている大企業のホームページ・・・たとえばみなさんもよくご存知の Apple 社のホームページは、デザイン性に優れていて、文章も最低限、かっこいい感じがしますね。だから教会も・・・と真似をしがちです。

しかし、教会がその真似をしてしまうと逆効果になりがちです。

**大半の教会は信頼がありません**。これは当たり前のことです。初めて行く場所・施設に対して何も見ずに「大丈夫だ」なんて思える人はいません。「この教会は行っても大丈夫かな・・・」という感じで読者は見えています。

そこで、デザインはかっこよくても、ほとんど説明もなんにもないホームページでは、返って不安に感じてしまいます。

大企業と教会のホームページでは役割が違うのです。**大企業のホームページはブランドイメージを高めること**を目標にしています。しかし**教会のホームページは教会に来てもらうこと**が目標です。目標が異なるホームページを真似すると、失敗になる可能性が高いですね。

---

### 興味を持っている人しか見に来ないから

---

最初にお伝えしたようにホームページは**興味を持っている人しか見に来ません**。

だから、誰が読むかわからないチラシと比較してもちゃんと文章を読んでもらえる可能性が高いです。

文章を書かないというのは大変もったいないことなのです。

教会の玄関で中を覗いている人がいるところをイメージしてください。

どんな声をかけますか？

きっとみなさんは暖かい声をかけて、その方に安心してもらって、お茶でも飲んでもらってから、教会の中を丁寧に案内されるのではないのでしょうか。

教会ホームページも同じです。暖かいあいさつから始まり、ここはどんな教会か、どんな人が運営しているのか、どういう歴史を持っているのか、ということから始まり、まずは毎週の日曜日の礼拝の案内をされると思います。そこで礼拝日時だけをお伝えして終わりじゃないですね。どんな思いを持って、みんな礼拝に来ているかといったことや、初心者の方もいらっしゃるということなど、安心して来てもらえるように説明します。

はじめての方はどんな服装で礼拝に出てよいかもわかりません。持ち物や費用のこともわかりません。こどもを連れて行って良いのか、駐車場はあるのか、なんにもわかりません。

なんにもわからないところへ初めて来ることの大変さをどうか理解してください。そうした方々に暖かく、優しく必要な情報をホームページで伝えてあげてください。それを補うように写真・動画などを配置していくのです。

### 3. 毎日更新しなくても大丈夫。3ヶ月に1回でも大丈夫。

---

よく「ホームページは毎日更新しないといけない」なんてことを耳にしませんか。

もちろん、毎日更新しないよりは更新したほうがいいのです。それは検索エンジンに活発なサイトであると判定されるためです。でも、毎日もする必要はありません。3ヶ月に一回でも充分です。

よく考えてください。誰が毎日教会のホームページを見に来ますか？

教会員ですらそんなに見ませんよ。そもそも毎日見に来てもらってどうするんですか？

何度も繰り返しますが、**人は用事があるときにしかホームページを見に来ない**のです。何度も見てもらえるほど人々は暇じゃありません。

**「その人の人生でうちの教会のホームページを見に来るのは1回だけ」**と考えてください。

しかし**「その1回」で大事なことをしっかり伝える**気持ちを持ってください。

チャンスは1回です。

教会ホームページでは、初めて教会に来る人が安心できる内容をしっかり抑えることが大切です。

教会までの行き方も住所だけ載せるのでは不親切ですね。どこの駅で降りて何を目印にどうやって行くのかまで書いてほしいですね。そうした説明がことごとく不親切なのに、ブログだけは毎日更新されるのはいかななものかと思います。

だから、最初に、読者が見て安心してもらえるようなホームページをしっかりと作り込んで頂きたいのです。最初から完璧でなくとも構いません。公開した後も、気づいたら都度修正していくという形でも大丈夫です。実はそれも「更新」とみなされますので、検索エンジン対策にもなるのです。

検索エンジン対策と最初に書きましたが、もちろん毎日更新することが、検索エンジン対策に良い影響を与えます。しかし、どこの教会も人材が豊富なわけではなく、教職の方が片手間にホームページを運営していることも少なくありません。そんな中で毎日更新する必要もないということです、費用対効果的にも良いとは思いません。どこの教会も同じような状況で、競争も激しくないなので、そんなにしゃかりきに検索エンジン対策をする必要もないと思います。

## 4. 検索エンジンで上位表示される方法

---

検索エンジンのお話が出てきたので、最後に検索エンジンのお話をして終わりたいと思います。

「検索エンジンで上位に載せてほしい」とご依頼をうけることがあります。

よくよく聞いてみると「教会」というキーワードで検索した時に、一番上に載せたいというのです。

はっきり申し上げるとそれは無理な相談です。それは教会が、日本を代表する、日本人なら誰もが知っているような教会になるしかありません。それでも一番上に来る保証はありません。

---

### 検索エンジンは利用者の利益が最優先されるべき

---

たとえば、美味しいラーメン屋さんを探すとき、どんなキーワードで検索しますか？

「おいしいラーメン」で検索しますか？

でもたぶんそれは失敗します。みなさんが住んでいる場所から遠く離れたラーメン屋さんまで表示されるからです。そこで

「名古屋 おいしいラーメン」というように検索しますよね。

このように地域名とキーワードの組み合わせで上位に表示されることが理想的です。

しかし、ここで評判の悪いラーメン屋さんが表示されて、行ってみたら嫌な思いをした・・・ということだったら、腹たちますよね。使えない検索エンジンだって思いますよね。

「名古屋 美味しいラーメン」と検索した時に、本当に名古屋でも有名なラーメンさんがそこそこ表示されるようになっているはずですよ。このように利用者が望んでいるであろうものを的確に引き出すのが検索エンジンの役割なのです。その前提を覆して表示させようとするところに間違いがあります。

みなさんは「名古屋 教会」といったキーワードで上位に表示されたいですよ。でもその答えは

「名古屋でキリスト教会といたらここ」と呼ばれるぐらいの存在の教会になってください。

ということになります。それは無理？ では

「名古屋市中区で教会といたらここ」を目指してください。ちょっと現実味がでてきましたね。

---

### どんな制作業者でも最低限のことは抑えています

---

どこのホームページ制作業者に頼むにしても、プロであるなら最低限のことは抑えています。

素人の方が作るよりは上位に表示される確率が高いでしょう。とはいえ、小手先のテクニックで上位表示するのは限界があります。それは先程もお伝えしたように、利用者が本当に望んでいるホームページが上位に表示されますので、駆け出しのホームページがすぐに上位に来られるほど甘くはありません。

たまに「検索エンジン●万円で上位表示します」というサービスがありますが、それを利用するのはおすすしません。もしそうした業者を利用するならば、利用者の利益が最優先されるべきという前提を踏ま



えて施策を提案してくれるところに限られると思います。それ以外の業者はグレーな方法を使って上位表示させますが、そうしたものは直に淘汰されていくことでしょう。

---

### 検索エンジンの上位表示のしくみ

---

では、検索エンジンはどこで「上位表示すべきホームページか」を判断しているのでしょうか。

それだけで一冊の本がかける程ですが、ざっくり簡単に紹介しましょう。

- ホームページでどのような形でキーワードが使われているか。
- 定期的に更新があり、アクティブになっているか。
- どのようなページからリンクが貼られているか（信頼度の高いホームページからリンクがたくさん張られていれば信頼が高いとみなされます）

といったところですが、特に重要なのが最後の項目です。

たとえば、色々な人のブログで「ここのお店はよかったよ」とリンク付きで紹介されるとポイントが高く上位表示されやすいのです。有名人のサイトからリンクをされれば、もっとポイントが高く付くのです。

その施設が良い施設なら必ず紹介されてリンクされるであろうという考えが元になっていますので、ホームページを作っても、どこからもリンクが張られなければ、検索エンジンで表示すらされないということもあり得るのです

ホームページを作ったら、所属教団のホームページや教会員のブログなどからリンクを張ってもらうといったことを、すぐにやってみてください。

---

### 教会ホームページにリンクを張ってもらう方法

---

とはいってもそこは教会。飲食店と違ってそんなに頻繁にリンクを張ってもらえるとは思えません。では、どうしたらリンクを張ってもらえるでしょう。

一番有効な施策は、教会が何らかのイベントの会場となることです。イベントの会場となることで、そのイベントのホームページからリンクを張ってもらうことができます。イベントに訪れた人がリンクを張ってくれる可能性が増えます。

そのイベントの様を、教会のブログで紹介すると、イベントの主催者から喜ばれますね。それを別のイベント主催者が見て、この教会をイベントの会場として使えないかと考えることもあるかもしれません。

教会を開き、いろいろな方が出入りするような場所になっていただくことで、リンクを張られる機会も増え、上位表示されていくことになるのです。そして教会自身も本来の活動に力を注いで、イベントを催したりしていくうちに、その地域でなくてはならない教会になっていくのだと思います。

まずは「名古屋市中区 教会」ぐらいのキーワードで上位に表示されることを目指してみてください。地域の中で、なくてはならない教会を目指すことこそ、最高の検索エンジン対策になります。

教会ホームページの基本的な考え方

2019年2月21日 v2019022101

著者：BREADFISH 丸山泰地 [maruyama@breadfish.jp](mailto:maruyama@breadfish.jp)

BREADFISH ウェブサイト：<https://breadfish.jp/>